



今、幼稚園では遊びの時間はもちろんのこと、わずかな隙間の時間を縫うようにして嬉しそうにクリスマスブックを広げている子どもたちの姿があります。肩を寄せ合うようにして表紙のイラストに色を付ける子、クリスマスブックに引かれた赤線を嬉しそうに眺める子、楽譜を見ながら歌をうたう子……。どの子どもたちからもクリスマスが近づいてくる喜びが感じられます。

11月11日に年長さんがクリスマスブックを貰い、そこから数日遅れて年中さんが、さらにまた何日か遅れて11月末に年少さんが、にじぐみさんは12月初めと子どもたちが順番にクリスマスブックを受け取ってます。

一斉に渡すのではなく、日にちをずらして渡しているのは、子どもたちに“待つ”経験をしてもらいたいからです。物の溢れる現代、欲しい物があれば簡単に手に入れることができちゃいます。だからこそ、“待つ”ことを通して、2000年前にイエスさまをお待ちしていた人たちに心を寄せたいと思います。

先日、年中さんがクリスマスブックを受け取った日に、クラス(ゆり組)ではクリスマスブックに載っている楽譜を見ながら讃美礼拝の歌の紹介を行いました。

まだ年少さんがクリスマスブックを受け取っていなかったために、近くに座っている年少さんにクリスマスブックを見せてあげて欲しいと年長さん年中さんに声を掛けました。自分のクリスマスブックを嬉しそうに少し誇らし気に年少さんに見せている姿の中からは、年少さんの(自分のクリスマスブックはないのかな……)という心配そうな顔が見えました。すると、隣にいた年長さんはその心配を感じ取ったのでしょ。う。「大丈夫だよ。もう少ししたら、〇〇ちゃんもクリスマスブックがもらえるよ」と年長さんの優しい声が聞こえました。「そっか……、そっか！」と年長さんの言葉に納得し、楽しみに待とうとしている年少さんの声。その温かい姿に、心まで温かくなりました。

今週の礼拝ではアドベントクランツの3本目のろうそくに火が灯り、いよいよ来週にはクリスマスの礼拝が行われます。子どもたちと共にその日を待ちたいと思います。

(ゆか)

◆いよいよクリスマス◆

来週木曜日には、讃美礼拝の日を迎えます。子どもたちは11月中旬ごろから少しずつ準備を進めてきました。献金箱やアドベントカレンダーの飾りづくり、もみの木の飾りつけ……目に見えることを通して、またクリスマスの意味を知っていくことやアドベント礼拝を重ねる中で、気持ちが高まることなど...

クリスマスの意味や子どもたちのクリスマスへ向けての準備について理解を深め、お一人おひとりが心の準備をしてくださいますように。これまでに発行したこともニュースを読み返してみるのもオススメです！

讃美礼拝を共に捧げしてくださる方々へのお願いと確認
～ご理解とご協力をお願いします！～

- ◆クリスマス讃美礼拝当日の朝を穏やかな気持ちで迎えるためにも、「クリスマス当日・警報時の日程変更について」(11/8発行のお手紙)と「讃美礼拝のお知らせ」(12/2発行のお手紙)をお読みいただき、登園時間や持ち物などの確認をお願い致します。
- ◆当日の欠席連絡は、8:30~50にお願いします。また、讃美礼拝中はインターホン・電話での対応はできません。ご了承ください。
- ◆感染対策の為、保護者席数は園児一人につき1席です。座席は決まっていますので、お互い譲り合ってお座りください。大勢の席をとることはやめましょう。
- ◆子どもたちの入場開始は9:45頃です。子どもの様子によって、前後することがありますが、入場開始以降の出入りは出来ません。やむを得ず途中退室される方は、マナ側の扉をご利用ください。
- ◆2000年前、初めてのクリスマスは暗い小さな馬小屋で、静かに厳かにイエスさまをお迎えしました。讃美礼拝中はその馬小屋のように遊戯室全体を暗くし、心静かに行われます。保護者の方々も、携帯電話の電源を切る、カメラやスマホ、タブレットでの撮影禁止などのご協力をお願いします。
- ◆礼拝後、子どもたちは着替えを済ませ、各クラスにて帰りの支度をします。保護者の方は、この間に遊戯室の片付けなどお手伝いくださると助かります。

細かな点までお願いしましたが、
何よりも願っているのは
“イエスさまを中心に”

多くの方々と礼拝を捧げることです。
当日は、子どもたちとおうちの方と
共に礼拝の時を持てますように。

